

NEWS LETTER VOL.11

発行/2022年7月1日 発行者/永井まさと 〒239-0813 神奈川県横須賀市鴨居3-5-5 <http://www.yumeyokosuka.com/>

歴史的価値高い大矢部弾庫の調査に期待

6月定例議会終了 様々な補正予算案を議決

6月定例議会が24日に終了しました。原油価格や物価高騰に直面する生活者や事業者を支援するための予算としては、プレミアム商品券事業、コロナ禍で減収した方への自立支援金と住居確保給付金にかかる経費について国の申請期限延長に伴う増額、バス・タクシー等の交通事業者への助成、商店街街路灯の電気代に対する助成金の拡充を議決しました。

新型コロナウイルス感染症対策としては、検査・入院にかかる公費負担について、感染者数の増加に伴う予算増額、コロナ禍の利用者減で運営補助金が減少した教育・保育施設への支援、今後の対策のための新型コロナウイルス感染症緊急対策基金への積立金増額を議決しました。

医療関係の支援としては、不妊治療に対する市独自の助成を新たに創設するとともに、自費でHPVワクチンを接種した方への払い戻しをする議案を議決しました。

今後期待される観光・集客のための取り組みとしては、大河ドラマを契機とした衣笠地区の取り組みへの支援、ティボディエ邸のシアターで放映する新たな体験型ムービーの制作のほか、様々な取り組みが提案され議決されました。

都市整備常任委員会 所管事務調査を実施

今年度私が所属している都市整備常任委員会では所管事務調査として、大矢部弾庫跡地、猿島トイレ建設現場、東京九州フェリーターミナルを訪問しました。

大矢部弾庫跡地は約18ヘクタールの広大な土地で、旧軍施設、自衛隊施設であっ



たこともあり、長く立ち入りが制限されてきた土地です。現在は使用されておらず、国からの譲渡に向けて市が利用計画を策定する流れになっています。写真の右奥には三浦一族の初代為通が開いたと言われる円通寺の跡地があり、三浦一族の廟所とされる「深谷やぐら群」が存在しています。歴史的価値の高い遺跡ですから、今後の調査が期待されます。また、写真左奥には貯水池があり、希少生物も存在しているということで、調査が行われています。手付かずで保たれてきた土地を市は民官連携で活用する方策を探っていきます。

BMXジャパンカップ 横須賀で初開催

スポーツで街を盛り上げる施策の一環として、本市はアーバンスポーツに力を入れています。その中でもBMXについては、練習場所や大会が開催できる場所が限られています。今回市がBMXの大会を誘致し、

多くの方に横須賀がアーバンスポーツの聖地として認識してもらえる機会ができたことはスポーツを通じた街づくりの大きな一歩前進であると感じています。大会は7月22日から24日まで、うみかぜ公園で開催されます。

オンライン未来会議を開催 します

私たちが会派「よこすか未来会議」は、コロナ禍になっても市民の皆さんの声を聞き、意見交換する場を常に作りながら政策づくりを進めてきました。来年度予算に対する議論が活発になるこの夏のタイミングで、オンライン未来会議の開催を予定しています。今回のテーマは横須賀の文化、スポーツ、観光です。ぜひ参加いただき、皆様の声を聞かせてください。参加方法は後日タウンニュースや会派ウェブサイトにて確認いただけます。

開催日時 7月22日(金) 19時～20時半

会派ウェブサイトは右の二次元コードよりアクセスしてください。



会派マニフェスト最終検証へ

私が所属する会派「よこすか未来会議」は、2019年に結成、4年間で取り組むべき会派マニフェストを作り、それに沿った政治活動を進めてきました。現在に至るまで広聴会を何度も開催し、市民の声を市政に反映するための活動を展開しています。その考え方が認められ、2019年、2020年連続で優秀マニフェスト推進賞を受賞しました。議員任期最後の今年は、今までの取り組みの仕上げとして、外部評価をお願いし、秋ごろに皆様にお示していこうと考えています。今後も例年通りの広聴会を開催していく予定ですので、ぜひご参加いただき、ご意見を寄せいただきたいと思います。

よこすか
未来会議

2019年10月19日～2022年
選挙区 022

永井まさとの主な役割

- 副議長
- 都市整備常任委員会 委員
- 議会制度検討会議 副委員長
- 新型コロナウイルス感染症対策検討協議会 副委員長